

1 総 括

1 - 1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、公設試験研究機関においては研究開発、技術支援の高度化がますます強く要請されている。このため、地域産業の「技術的抛りどころ」としての機能を果たしていくためには、生産・加工システム、地域資源の高度利用、新素材・新材料、バイオ・食品、環境・生活・デザイン及び電子・情報などの研究開発が不可欠であり、これらの研究開発を推進することによって、技術水準の高度化を促進し、地域資源や開発した技術の活用による新製品・新商品の開発を行い、新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主対象とする技術相談・支援業務、依頼分析・試験業務及び工業技術に資する研究開発業務を主要業務とするほか、J Dream、PATOLISなど技術情報データベースのオンライン検索による情報提供、メール配信サービス「KIT-enews」等地域企業への情報提供業務を行うとともに、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。また、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R&D支援センター」や、「システム開発技術センター」などの利用を通して、地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進している。

1 - 2 組織と業務

庶務部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

企画情報部

- (1) 試験研究及び技術指導の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査研究及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。

デザイン・工芸部

- (1) 工業製品及び工芸品に関するデザインの開発研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 工芸品の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 工業製品及び工芸品に関し、依頼に応じて行うデザイン設計に関すること。

食品工業部

- (1) 食品工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 微生物及び動植物細胞の食品工業の利用に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 食品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること。

化学・環境部

- (1) 化学及び環境関連工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 繊維及び染色に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 化学に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

素材開発部

- (1) 窯業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 新素材及び複合材料の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 窯業及び金属に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

機械技術部

- (1) 機械工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び検査測定に関すること。

電子部

- (1) 電子技術に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 情報処理技術及び通信技術の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 電子機器に関し、依頼に応じて行う試験及び検査測定に関すること。

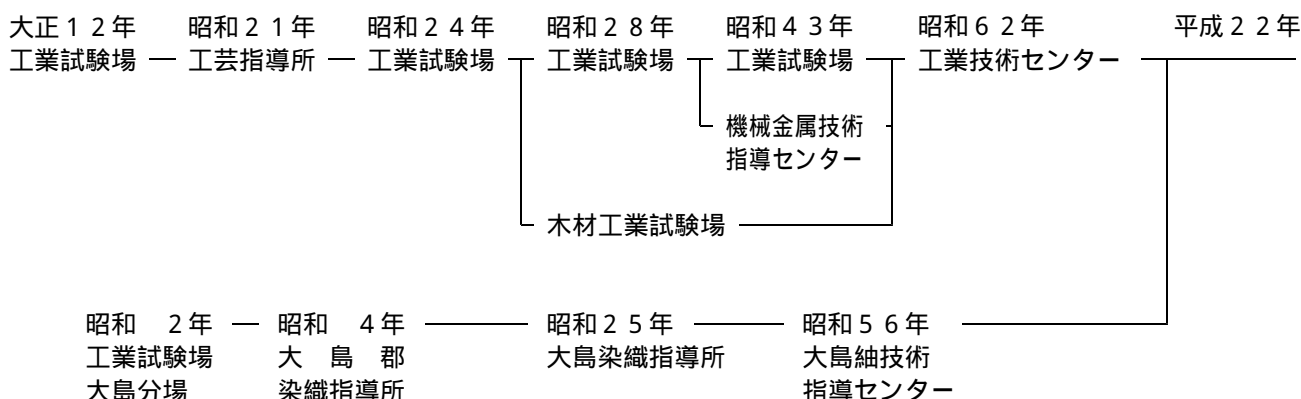
木材工業部

- (1) 木材工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 木材に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

大島紬部

- (1) 染織工業及び手工芸に関する試験、試作、調製、分析、鑑定及び研究に関すること。
- (2) 染織工業及び手工芸技術に関する講習、伝習及び実地指導に関すること。
- (3) 染織工業及び手工芸に関し、一般の委託を受けて行う分析、試験鑑定、製作加工及び図案調製に関すること。
- (4) その他染織工業及び手工芸に関し必要な調査に関すること。

1 - 3 沿 革

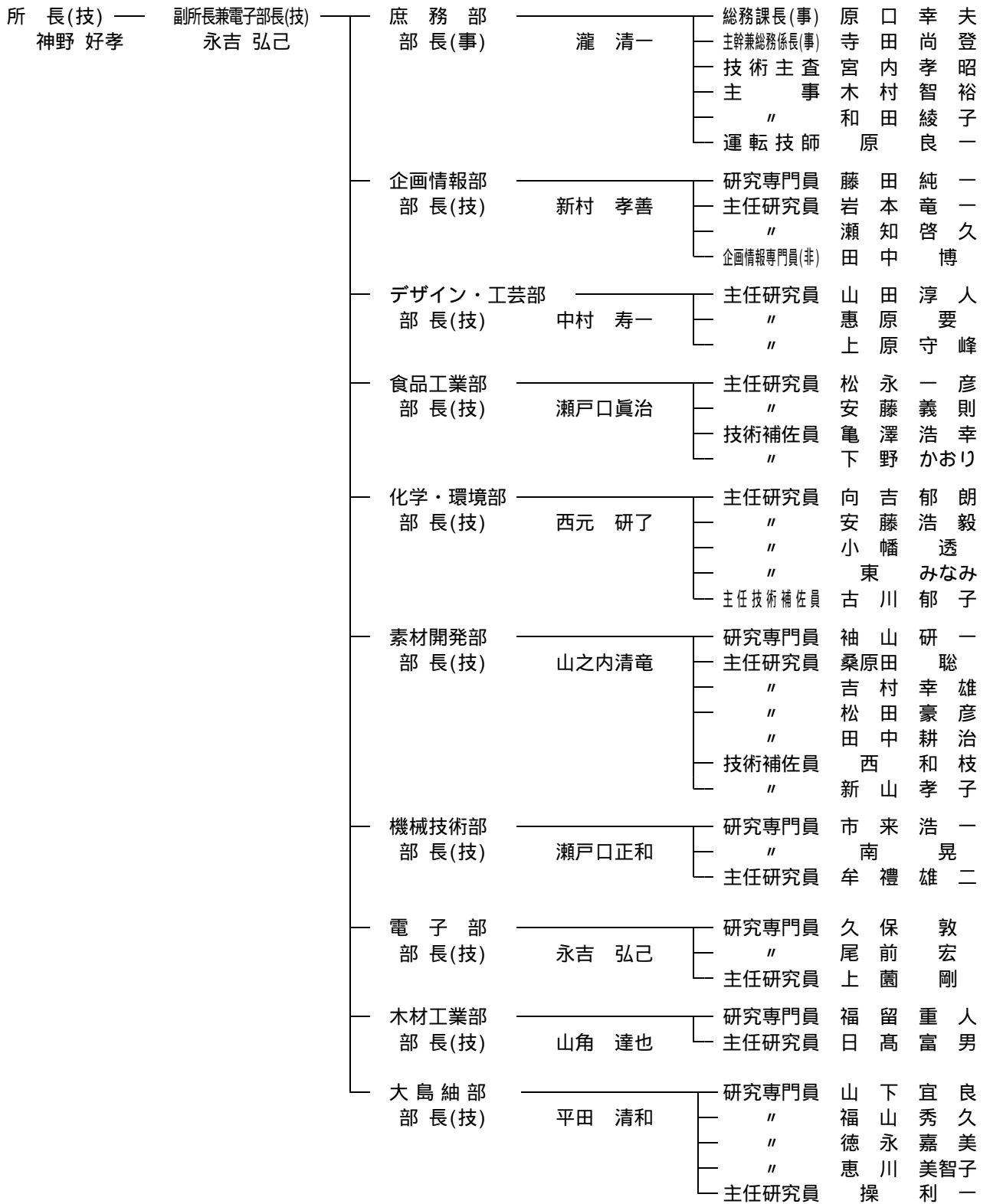


- 大正12年 4月 鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し，染色，機織の2部を設置
- 昭和 2年 4月 工業試験場大島分場を設置し，庶務，図案，原料，染織の4部で発足
- 昭和 4年 6月 鹿児島市原良町に移転
- 昭和 4年11月 原料系検査，醸造，玉糸製糸，撚糸，図案の各部を増設
- 昭和15年 4月 工業試験場大島分場を大島郡染織指導所と改称し，庶務，原料，染織，図案の4部に改編
- 昭和17年 1月 窯業部を増設
- 昭和21年 4月 木工，化学部を増設
- 昭和21年12月 工業試験場に木工養成所を併設
- 昭和23年 1月 工芸指導所と改称し，庶務，化学，窯業及び工芸振興の4部に改編
- 昭和24年 4月 竹工部を増設
- 昭和25年 6月 工業試験場と改称し，庶務，化学，及び工芸（木工，竹工，窯業）に改編
- 昭和26年 4月 大島郡染織指導所を大島染織指導所と改称
- 昭和27年 4月 発酵工業部を新設
- 昭和27年 4月 工芸部より木竹工部を分離・新設，揖宿郡指宿町（現 指宿市）に指宿分場を設置
- 昭和28年 4月 大島染織指導所は琉球政府経済局の所管へ
- 昭和28年12月 木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置
- 昭和34年11月 日本へ復帰，鹿児島県大島染織指導所へ
- 昭和38年 6月 鹿児島市武町に移転
- 昭和39年 4月 指宿分場を廃止
- 昭和43年 2月 工芸部を窯業部に改め，化学部に機械金属班を設置
- 昭和43年 8月 工業試験場の新庁舎竣工
- 昭和48年 3月 機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立
- 昭和56年 4月 鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転
- 昭和62年12月 大島染織指導所を大島紬技術指導センターと改称するとともに総務課，機織研究室，図案研究室，染色化学研究室の1課，3室体制とする。
- 平成 8年 4月 工業試験場，機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し，現住所に工業技術センターを設立，庶務，企画情報(室)，デザイン開発(室)，食品工業，化学，窯業，機械金属，電子，木材工業の2室7部に改編
- 平成 9年 3月 知的所有権センター開所
- 平成 9年12月 システム技術開発センター開所
- 平成10年 7月 R & D支援センター開所
- 平成13年 4月 化学部を化学・環境部に改編
- 平成22年 4月 大島紬技術指導センターを統合し，大島紬部を設置

1 - 4 機 構

1 - 4 - 1 組織と職員配置

(平成22年4月1日現在)



1 - 4 - 2 職員現況表

(平成22年4月1日現在)

区 分	事務職	技術職	現業職	計	非常勤職員	備 考
庶務部	5	3	1	9		所長，副所長を含む
企画情報部		4		4	1	
デザイン・工芸部		4		4		
食品工業部		3	2	5		
化学・環境部		5	1	6		
素材開発部		6	2	8		
機械技術部		4		4		
電子部		3		3		
木材工業部		3		3		
大島紬部		6		6		
計	5	41	6	52	1	

1 - 4 - 3 人事異動

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

発令年月日	氏名	新 任	旧 任	備 考		
H22. 4. 1	永吉 弘己	副所長兼電子部長	商工労働部参事	転 入		
	寺田 尚登	庶務部主幹兼総務係長	大島支庁沖永良部事務所			
	平田 清和	大島紬部長	大島紬技術指導センター			
	山下 宜良	大島紬部研究専門員	〃			
	福山 秀久	〃	〃			
	徳永 嘉美	〃	〃			
	恵川 美智子	〃	〃			
	宮内 孝昭	庶務部技術主査	商工労働部産業立地課			
	和田 綾子	庶務部主事	出納局管理調達課			
	新山 孝子	素材開発部技術補佐員	南薩地域振興局総務企画部			
	恵原 要	デザイン・工芸部主任研究員	デザイン・工芸部主任研究員	再 任 用		
	上原 守峰	〃	大島紬技術指導センター館長			
	田中 耕治	素材開発部主任研究員	デザイン・工芸部長			
	操 利一	大島紬部主任研究員	大島紬技術指導センター主任研究員			
	新村 孝善	企画情報部長	素材開発部長		所内異動	
	中村 寿一	デザイン・工芸部長	食品工業部長			
	瀬戸 眞治	食品工業部長	食品工業部研究専門員			
	山之内 清竜	素材開発部長	電子部長			
	瀬戸 正和	機械技術部長	機械技術部研究専門員			
	久保 敦	電子部研究専門員	電子部主任研究員			
市来 浩一	機械技術部研究専門員	機械技術部主任研究員				
藤田 純一	企画情報部研究専門員	企画情報部主任研究員				
南 晃	機械技術部研究専門員	機械技術部主任研究員				
尾前 宏	電子部研究専門員	電子部主任研究員				
	瀬知 啓久	企画情報部主任研究員	素材開発部主任研究員	転 出		
	吉村 幸雄	素材開発部主任研究員	企画情報部主任研究員			
	東 みなみ	化学・環境部主任研究員	化学・環境部研究員			
	古川 郁子	化学・環境部主任技術補佐員	化学・環境部技術補佐員			
	中村 俊一	商工労働部参事	企画情報部長			
	淵之上 初男	森林技術総合センター主幹(兼)総務係長	庶務部主幹(兼)総務係長			
	久保園 隆	県立北薩病院経営課経営係長	庶務部専門員			
	澤崎 ひとみ	始良・伊佐地域振興局総務企画部	素材開発部技術補佐員			
	H23. 3.31	原口 幸夫			庶務部総務課長	退 職
		田中 博			企画情報部企画情報専門員	
福山 秀久			大島紬部研究専門員			
恵川 美智子			〃			

1 - 5 規 模

1 - 5 - 1 土地・建物

土地面積 67,245.36㎡ (霧島本庁舎 60,889.02㎡ 奄美分庁舎 6,356.34㎡)
 建物延べ面積 19,099.73㎡ (霧島本庁舎 16,664.99㎡ 奄美分庁舎 2,434.74㎡)

区 分	面積 (単位㎡)	内		備 考		
		階別	面積(単位㎡)			
霧 島 本 庁 舎	管 理 研 究 棟 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 下 1 階 地 上 3 階	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他		
		1 階	2,884.14	庶務部, 企画情報部, 会議室 研究員室, ショールーム 知的所有権センター 他		
		2 階	3,097.77	デザイン・工芸部, 食品工業部 化学・環境部, 素材開発部 電子部, 電子計算機室		
		3 階	2,540.82	デザイン・工芸部, 化学・環境部 素材開発部, 機械技術部 木材工業部, R & D 支援センター		
	棟屋	356.07	機械室			
	実 験 棟	食品・化学実験棟	656.10	1 階	656.10	食品工業部, 化学・環境部
		窯業実験棟	951.35	1 階	951.35	素材開発部
鉄 骨 造 平 屋 建	機械金属実験棟	1,640.25	1 階	1,640.25	素材開発部, 機械技術部	
	木材工業実験棟	1,541.84	1 階	1,541.84	デザイン・工芸部, 木材工業部	
シ ス テ ム 技 術 開 発 セ ン タ ー 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1 階	1,058.51	産学官共同研究室 実験シミュレーション室 制御測定室, 試作研究室		
そ の 他 付 属 棟	1,026.65			1,026.65	浄化槽機械室, 車庫, 官舎 他	
奄 美 分 庁 舎	事 務 所 及 び 研 究 室 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 上 2 階	1 階	1,499.26	職員室, 会議室, 展示ロビー 資料室, 機職試験室, 染色試験室 染色加工室 他		
		2 階	630.40	デザイン研究室, 開放試験室 機器分析室, 化学分析室, 暗室 機器計測室, 機器計測準備室 他		
	ハ イ テ ク 開 放 試 験 室 鉄 骨 造	164.32	1 階	164.32	つむぎゆらおう塾	
	そ の 他 付 属 棟	140.76	1 階	140.76	廃水処理施設, 実験用泥田	

1 - 5 - 2 配置図



■霧島本庁舎



■奄美分庁舎

1 - 6 決 算

1 - 6 - 1 歳 入

執行状況

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使用料	商工使用料	2,764,700	
		商工手数料	4,302,840	
	小計		7,067,540	
財産収入	財産売払収入	物品売払収入	281,400	
		生産物売払収入	1,284,640	
		小計	1,566,040	
諸収入	雑入	受託事業収入	10,733,600	
		その他収入	184,755	
		小計	10,918,355	
合	計		19,551,935	

1 - 6 - 2 歳 出

執行状況

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考
総務費	総務管理費	人事管理費	434,738	人 事 課
労働費	労政費	就職促進費	8,687,579	産 業 立 地 課
農林水産業費	農業費	農業振興費	6,580	農 産 園 芸 課
		林業費	林業振興指導費	130,442
	小計		137,022	
商工費	商業費	商業総務費	192,324	商 工 政 策 課
		中小企業振興費	172,764	か ご し ま P R 課
	工鉦業費	中小企業振興費	78,522	産 業 立 地 課
		工業技術センター費	253,796,235	産 業 立 地 課
	小計		254,047,521	
合	計		263,499,184	(人件費を含まず)

1 - 6 - 3 補助事業等

(単位：千円)

区分	補助事業等の名称	事業名	事業費	補助率	補助額	交付決定日	備考
受託	重点地域研究開発推進プログラム(地域ニーズ即応型)委託研究((独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業「静電気発電発生箇所検出システムの実用化に関する研究開発」	4,500	1/1	4,500	22. 4. 1	
"	重点地域研究開発推進プログラム(地域ニーズ即応型)委託研究((独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業「多段気流分級装置を用いた整粒シラスの連続製造とシラスコンクリート製品の開発」	572	1/1	572	22. 4. 1	
"	調査研究(日本酒造組合中央会)	公募提案型受託研究事業「黄麹を用いたいも焼酎製造技術の確立」	1,200	1/1	1,200	22. 5. 20	
"	調査研究(薩摩焼陶土調査協議会)	公募提案型受託研究事業「薩摩焼陶土実用性調査および新規資源調査」	387	1/1	387	22. 8. 2	
"	戦略的基盤技術高度化支援事業(中小企業庁)	公募提案型受託研究事業「サツマイモ焼酎粕からの機能性糖の抽出による健康食品の創製」	1,000	1/1	1,000	22. 8. 25	
"	研究成果最適展開支援事業フィージビリティスタディステージ探索タイプ((独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業「加工部加熱による複数個生産ヘッドینگ金型の開発」	1,300	1/1	1,300	22.10. 1	
"	公害防止等試験研究費「ディーゼル車の環境性能に与えるバイオマス燃料の影響実態把握とその評価に関する研究」((独)交通安全環境研究所)	公募提案型受託研究事業(廃食用油BDFの性状評価等)	1,575	1/1	1,575	22.10.25	
JKA補助	自転車等機械工業振興事業・公設工業試験研究所の設備拡充補助事業((財)JKA)	機器整備事業(研究機器購入事業)	17,199	1/2	8,599	22. 4. 1	
合 計			27,733		19,133		

1 - 6 - 4 検査・監査等

霧島本庁舎

種 別	実施年月日	対 象 期 間	実 施 者 職・氏名	備 考
委員監査	平成23年 2月 2日	平成21年度分及び 平成22年 4～9月分	監査委員 西山芳久 監査委員 橋口和博	奄美分庁舎 分を含む。
職員監査	平成22年11月 1日	平成21年度分及び 平成22年 4～9月分	監査委員事務局 堂込郁夫，坂上弘明 梶原俊郎，黒丸祥一	奄美分庁舎 分を含む。

奄美分庁舎

種 別	実施年月日	対 象 期 間	実 施 者 職・氏名	備 考
職員監査	平成22年 5月13日	平成21年度分 (物品)	監査委員事務局 堂込郁夫，黒丸祥一	
監査委員視察	平成22年 5月17日		監査委員 二牟礼正博 監査委員 橋口和博	

1 - 7 会議等への参加

(件数)

部 名 項 目	庶務部	企画情報部	デザイン・工芸部	食品工業部	化学・環境部	素材開発部	機械技術部	電子部	木材工業部	大島紬部	合 計
試験研究機関連絡会議	4	3	1	6	2	3	4	2	5	2	32
学 会	-	-	0	1	5	2	3	2	3	0	16
研究会・講習会	22	26	10	21	20	21	13	31	13	1	178
そ の 他	68	16	14	32	22	13	11	4	20	42	242

庶務部は所長，副所長を含む

1 - 8 設 備

平成22年度に整備した機器（重要物品）は、以下のとおりである。（12機種）

部 名	機 器 名	型 式	メ ー カ ー 名	備 考
デザイン・ 工芸部	大島紬小柄着姿作成システム	PX-H10000	セイコーエプソン(株)	国 補
素材開発部	X線回折装置	Ultima	(株)リガク	JKA補
素材開発部	走査型顕微鏡	TM3000	(株)日立ハイテクノロジーズ	国 補
素材開発部	高強度バルーン製造装置	SRK-6×35-14	光洋サーモシステム(株)	国 補
素材開発部	粒度・形状分布測定装置	Morphologi G3S	スペクトリス(株)	国 補
素材開発部	超微粉碎分級装置	CPY-2+DSF-2	日本ニューマチック工業(株)	国 補
機械技術部	高精度三次元測定機データ処理装置	MCOSMOS	(株)ミットヨ	国 補
機械技術部	高速度カメラ	VW-9000	(株)キーエンス	国 補
電子部	画像モニタリングシステム	Motion Xtra N3L	IDTジャパン(株)	国 補
電子部	半導体用静電気放電試験機	HPE-5000	阪和電子工業(株)	受 託
電子部	接触型表面電位計	Model 820	トレック・ジャパン(株)	受 託
木材工業部	自動一面鉋盤	AD-601	常磐工業(株)	国 補

(注)

- 国 補 - 地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）により購入したもの
- J K A 補 - J K A補助金（(財) J K Aからの交付）により購入したもの
- 受 託 - 文部科学省の補助金（(独)科学技術振興機構からの委託）により購入したもの